

2025 会告 No.4

◇通知・案内事項

○2025年度化学工学会資格制度案内 本号5ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2025)	(2026)
◇年会		
◇秋季大会		
◇支部大会		
◇学生発表会		

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会 告 ペー ジ
2025年4月 April			
22～24	「化学プラントの装置材料技術」講座(4/22-24)(オンライン)	4月14日(月)	2号8
2025年5月 May			
15～16	「プロセス設計」講座 プロセス基本制御とPFD作成 編(5/15-16)(東京都)	5月7日(水)	本号9
19～6/3	「プロセス設計」講座 塔・槽、熱交換器の設計 編(5/19, 20, 6/2, 3)(オンライン)	5月12日(月)	本号8
20	セミナー「サーキュラーエコノミー実現に向けたレアメタルリサイクルの現場見学会および講演会」(大阪府, 兵庫県)	5月9日(金)	本号17
22～23	「レイアウトとプロットプランの考え方」講座(5/22-23)(東京都)	5月14日(水)	本号9
29～30	化学プロセスの安全性評価手法入門(5/29-30)(東京都/オンライン)	5月21日(水)	本号10
2025年6月 June			
4～6	「プラント計装制御-1」講座(6/4-6)(東京都)	5月27日(火)	本号10
9～10	「プロセス設計」講座 ハイドロリックの設計 編(6/9-10)(千葉県)	5月9日(金)	本号9
13～7/4	「Pythonで気軽に化学工学 ～データ解析・機械学習入門～」講座(6/13, 7/3, 4)(東京都)	6月5日(木)	本号11
16～17	第18回機器分析講習会「化学工学系の研究開発を支援する最新の分析、解析技術」(6/16-17)(オンライン)	6月9日(月)	本号15
18～20	「反応器の設計」講座(6/18-20)(東京都)	6月10日(火)	本号11
25～27	「P&IDの作り方」講座(6/25-27)(東京都)	6月17日(火)	本号12
26～7/4	第49回基礎化学工学演習講座(第1, 2クール)(6/26-27, 7/2-4)(オンライン)	6月23日(月)	本号16
27	セミナー「分析技術の最前線とものづくりへの応用」(大阪府)(オンライン)	6月20日(金)	本号17
2025年7月 July			
10～11	「回転機械(ポンプ・圧縮機)の基礎」講座(7/10-11)(東京都/オンライン)	7月2日(水)	本号12
22～30	「発酵・培養技術の基礎と実践 ～乳酸菌の発酵・培養を題材にした課題解決の考え方～」講座(7/22, 23, 29, 30)(オンライン)	7月14日(月)	本号12
24～25	「プロセス設計」講座 化工物性、蒸留計算 編(7/24-25)(オンライン)	7月16日(水)	本号8
28	「プロセス設計」講座 化工物性、蒸留計算 編: オプション(7/28)(東京都)	7月18日(金)	本号8
2025年8月 August			
1	「知的生産性を高めるチームづくり」講座(8/1)(東京都/オンライン)	7月24日(木)	本号13
28～29	第59回化学工学の進歩講習会・2025年度ミキシング夏期セミナー「攪拌・混合技術の操作・設計基礎と最新情報」(愛知県)(8/28-29)	8月8日(金)	2号10
2025年9月 September			
5	「仕様書の書き方 ～要求を正しく伝えるために～」講座(9/5)(東京都)	8月28日(木)	本号13

会告

2025年10月 October			
23～24	「モデリング技術の基礎と実践」講座(10/23-24) (東京都)	10月15日(水)	本号13
2025年11月 November			
7	「バッチ操作を伴うプロセス設計」講座(11/7) (東京都)	10月30日(木)	本号14
13～14	「ガス分離膜・浸透気化膜分離プロセス及び膜反応器の設計」講座(11/13-14) (東京都)	11月5日(水)	本号14
2026年1月 January			
22～23	「プラント計装制御-2」講座(1/22-23) (東京都)	1月14日(水)	本号14

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
6月30日～7月4日	14th World Filtration Congress (第14回世界濾過会議)(WFC14) (6/30-7/4) (Bordeaux, France)	10月15日(火)	8号8
10月27～30日	The 7th International Symposium on Innovative Materials and Processes in Energy Systems (IMPRES2025) (第7回革新的エネルギー材料・プロセス国際会議)(宮城県)	3月20日(木)	3号9

◇共 催・協 賛 行 事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号(FAX) E-mail, URL
グリーン水素、アンモニアに関する国際シンポジウム(静岡県)	4月11～12日 (金～土)	沼津高専グリーン アンモニア研究セ ンター	090-4051-7366 (042-796-6863) kenai@cc01.itscom.net https://sites.google.com/view/greenammonianumazu/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0
2025 International Conference on Electronics Packaging and iMAPS All Asia Conference (ICEP-IAAC) (長野県)	4月15～19日 (火～土)	一般社団法人 エ レクトロニクス実 装学会	03-5310-2010 (03-5310-2011) icep2025@jiep.or.jp https://www.jiep.or.jp/icep/
第58回空気調和・冷凍連合講演会(東京都)	4月17～18日 (木～金)	公益社団法人日本 冷凍空調学会(幹 事学会), 一般社 団法人日本機械学 会, 公益社団法人 空気調和・衛生工 学会	03-5623-3223 (03-5623-3229) 3rengo-58@jsrae.or.jp https://www.jsrae.or.jp/info/3rengo-250417-18_no.58.html
第42回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会(東京都)	4月22～23日 (火～水)	公益社団法人日本 空気清浄協会	03-3665-5591 (03-3665-5593) jaca@jaca-1963.or.jp https://www.jaca-1963.or.jp
酵素工学会研究会第92回講演会(京都府)	4月25日(金)	酵素工学会研究会	075-753-6462 (075-753-6462) enzyme.engjsee@gmail.com https://www.jsee93.enzyme-eng.com
日本膜学会講演会～ゼオライト膜開発の最新研究から実用化, 普及に向けて～(東京都)	5月12日(月)	日本膜学会	03-3815-2818 (03-3815-2818) jimu@maku-jp.org https://www.maku-jp.org/international/kouenkai.html
第62回日本伝熱シンポジウム/HTSJ国際伝熱シンポジウム(沖縄県)	5月14～17日 (水～土)	公益社団法人日本 伝熱学会	045-924-5016 (045-924-5016) symp2025@htsj-conf.org https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/htsj2025

『春季塗料講演会「自動車を中心とした塗料・塗装の最新動向(新たな機能性付与・環境対応の新展開)」』(東京都)	5月15日(木)	色材協会 関東支部	03-3443-2811 admin@jscm.or.jp https://shikizai.org/shunki_toryo_kouen2025/
第31回化学安全講習会(大阪府)	5月15～16日 (木～金)	日本化学会近畿支部	06-6441-5531 (06-6443-6685) csjevent@kinki.chemistry.or.jp https://kinki.chemistry.or.jp/csjevent/anzen25.html
第60回真空技術基礎講習会(大阪府)	5月20～23日 (火～金)	日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) office@jvss.jp https://www.jvss.jp/jpn/activities/18/detail.php?cid=00007
第255・256回西山記念技術講座「製鉄所における資源循環と廃熱利用」(大阪府(対面開催), 東京都(ハイブリッド開催))	5月23日～6月4日 (金～水)	日本鉄鋼協会	03-3669-5933 (03-3669-5934) educact@isij.or.jp https://www.isij.or.jp/event/event2025/nishiyama255.html (3月頃掲載予定)
第25回マリンバイオテクノロジー学会大会(広島県)	5月24～25日 (土～日)	マリンバイオテクノロジー学会	082-424-4583 marinebio2025@hiroshima-u.ac.jp https://marinebiotechnology2025.hiroshima-u.ac.jp/
第74回粉体入門セミナー I (東京都)	6月4～5日 (水～木)	一般社団法人日本粉体工業技術協会	075-354-3581 (075-352-8530) nyumon@appie.or.jp https://appie.or.jp/introduction/organization/technical_center/education/
第30回計算工学講演会(埼玉県)	6月4～6日 (水～金)	日本計算工学会	03-3868-8957 (03-3868-8957) conf.office@jcsces.org https://www.jcsces.org/koenkai/30/
第29回動力・エネルギー技術シンポジウム(石川県)	6月5～6日 (木～金)	日本機械学会 動力エネルギーシステム部門	03-4335-7615 (03-4335-7619) izawa@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/event/25-13/
日本コンピュータ化学会2025年春季年会(東京都)	6月5～6日 (木～金)	日本コンピュータ化学会	080-2388-0894 sccjoffice@sccj.net https://www.sccj.net/events/nenkai/2025sp/
第36回年次大会(東京都)	6月18～19日 (水～木)	プラスチック成形加工学会	03-5436-3822 (03-5436-9698) office@jspp.or.jp http://www.jspp.or.jp
第75回粉体入門セミナー II (東京都)	6月18～19日 (水～木)	一般社団法人日本粉体工業技術協会	075-354-3581 (075-352-8530) nyumon@appie.or.jp https://appie.or.jp/introduction/organization/technical_center/education/
International Symposium on Scheduling 2025(東京都)	6月28～30日 (土～月)	スケジューリング学会	052-789-4239 (052-789-4239) office@scheduling.jp http://www.scheduling.jp/iss/2025/
第4回安心・安全・環境に関する計算理工学国際会議(英文名) The 4th International Conference on Computational Engineering and Science for Safety and Environmental Problems (COMPSAFE2025)(兵庫県)	7月1～4日 (火～金)	日本計算工学会(JSCES), 日本計算力学連合(JACM)	078-940-5541 compsafe2025@compsafe2025.org https://www.compsafe2025.org/
第62回アイソトープ・放射線研究発表会(東京都)	7月2～4日 (水～金)	日本アイソトープ協会	03-5395-8081 (03-5395-8053) happyokai@jrias.or.jp https://www.jrias.or.jp/seminar/cat11/

第8回材料界面の評価と制御に関する国際会議 The 8th International Conference on the Characterization and Control of Interfaces for High Quality Advanced Materials (ICCCI2025) (山梨県)	7月8～11日 (火～金)	粉体工学会	045-339-3959 045-339-3957 iccci2025@ynu.ac.jp https://ceramics.ynu.ac.jp/iccci2025/
第76回粉体入門セミナーⅢ(東京都)	7月16～17日 (水～木)	一般社団法人日本粉体工業技術協会	075-354-3581 (075-352-8530) nyumon@appie.or.jp https://appie.or.jp/introduction/organization/technical_center/education/
環境工学ワークショップ2025 (IWEE2025) & 第35回環境工学総合シンポジウム2025(北海道)	7月18～21日 (金～月)	一般社団法人日本機械学会	03-4335-7615 env-symp2025@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/env/iwce/2025/
2025年度工学教育研究講演会(京都府)	8月27～29日 (水～金)	日本工学教育協会, 関西工学教育協会	03-5442-1021 (03-5442-0241) 2025_jsee_conference@jsee.or.jp https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/jsee2025
先進赤外線計測技術と応用に関する国際シンポジウム (AITA 2025) (兵庫県)	9月15～19日 (月～金)	一般社団法人日本非破壊検査協会	022-279-7862 (022-279-7863) aita@jsndi.or.jp https://english.jsndi.jp/aita2025/index.html
第27回日本感性工学会大会(東京都)	9月17～19日 (水～金)	日本感性工学会	03-3666-8000 (03-3666-8000) jske27@jske.org https://www.jske.org/conference/jske27/
日本流体力学会 年会2025(大阪府)	9月17～19日 (水～金)	日本流体力学会	0120-70-2012 (06-6631-2316) jsfm-nagare@kbinfo.co.jp https://www2.nagare.or.jp/nenkai2025/
第257・258回西山記念技術講座「カーボンニュートラル社会実現のためのエネルギー材料における科学基盤と開発最前線」(大阪府(対面開催), 東京都(ハイブリッド開催))	10月27日～ 11月17日(月～月)	日本鉄鋼協会	03-3669-5933 (03-3669-5934) educact@isij.or.jp https://www.isij.or.jp/event/event2025/nishiyama257.html (5月頃掲載予定)
IIIAE2025(愛知県)	11月4～7日 (火～金)	日本非破壊検査協会	03-5609-4015 (03-5609-4061) yasoshima@jsndi.or.jp https://2025.iiiae.org/
EcoDesign2025国際会議(14th International Symposium on Environmentally Conscious Design and Inverse Manufacturing)(東京都)	11月12～14日 (水～金)	エコデザイン学会連合	03-5286-2147 ecodesign2025_secretariat@ecodenet.com https://ecodenet.com/ed2025/

2025年度化学工学会資格制度案内

化学工学会では、2006年度に資格制度を制定し、「**上席化学工学技士**（SPCE；Senior Professional Chemical Engineer）」、「**化学工学技士**（PCE；Professional Chemical Engineer）」、「**化学工学技士（基礎）**（PCEF；Professional Chemical Engineer（Fundamentals）」、「**化学工学修習士**（APCE；Associate Professional Chemical Engineer）」の4つの資格を設けました。（このうち「化学工学修習士」につきましては、2023年度をもちまして全ての審査を終了致しております。）

下表の受験資格、認定基準、能力水準を満たし、試験または審査に合格した方に対し、各資格を付与致します。

これらの資格を活用することにより、化学工学に対する社会の認識と関心を高め、化学技術者が社会から正当に評価され、社会と産業の発展に更に寄与することを目的としています。

資格	能力水準	受験資格	募集期間		合格発表
上席化学工学技士	化学工学を始めとする高度な専門的応用能力を必要とする“ものづくり”に関連する業務を、指導的立場で遂行する能力を有すること。	・実務経験10年以上、かつ「化学工学技士」を保有する正会員 ※2025年度より「化学工学技士」の保有を必須化しました。	6/1～6/30	【一次】書類・業務論文審査 【二次】課題論文試験：8/2(土) 【三次】面接審査：10/18(土)	11月
化学工学技士	化学工学を主とする専門的応用能力を必要とする“ものづくり”に関連する業務を、自己の判断で責任を持って遂行する能力を有すること。	・「化学工学技士（基礎）」を保有する方 ※2025年度より「化学工学技士」の保有を必須化しました。但し、2025年度に限り経過措置がございます。	10/1～11/15(予定)	12月上旬の土曜日(予定) 筆記試験	2月頃
化学工学技士（基礎）	化学工学の基礎を学び、学会の求める基礎的なレベルの知識を修得していること。	なし	7月上旬(予定) 8/29 13:00	9/27(土) 筆記試験	11月

なお、化学工学会が実施している化学技術者の資格制度に関しまして、以下の通り、「化学工学技士」及び「上席化学工学技士」の制度変更を行います(変更箇所は上表の下線部分)。

試験の日時等の詳細は、次号以降の会告及びホームページにてご案内致します。

化学工学技士に関する変更

「化学工学技士」資格認定試験は、2025年度より、以下の変更があります。

- ・受験要件に、「化学工学技士（基礎）」資格を保有していること」が追加されます。
- ・(旧)第一部試験(「化学工学技士（基礎）」相当)がなくなります。(旧)第二部試験の試験項目のみで審査します。
- ・試験時期が変更になります。
- 上記変更に伴い、2025年度は以下の措置を行います。
- ・現時点で「化学工学技士（基礎）」資格をお持ちでない方でも、「化学工学技士（基礎）」資格認定試験と「化学工学技士」資格認定試験を両方受験することが可能です。
- ・2025年度に「化学工学技士」資格認定試験に合

格点を取得したが、「化学工学技士（基礎）」資格認定試験が不合格の場合、2025年度の「化学工学技士」資格は不合格となります。ただし2026年度に「化学工学技士（基礎）」資格認定試験を再度受験いただき合格した場合、2026年度の「化学工学技士」資格認定試験を受験せずとも「化学工学技士（基礎）」と「化学工学技士」の資格を授与します。

- ・上記の措置は2025年度に限定します。また、2026年度の対応につきましては、いかなる事由(病気、海外赴任等)が生じても特例期間の延長は致しません。

上席化学工学技士に関する変更

「上席化学工学技士」資格認定試験は、2025年

度より、以下の変更があります。

- ・新しい受験要件に、「化学工学技士」資格を保有していること」が追加されます。また、それに伴い、必要な実務経験年数が10年以上に変更となります。
- ・一次および二次審査の内容が変更になります。一次審査では、従来は「業務履歴証明書」の提出のみでしたが、2025年度からは「業務履歴証明書」に加え、従来二次審査で提出頂いた「業務経験論文」も提出頂きます。
- 二次審査では、従来は「業務経験論文」と「課題論文」を約1か月の期間で執筆、提出頂いておりましたが、「課題論文」のみを会場における筆記試験で行います。
- 三次審査では、従来通り面接審査を行います。
- ・試験時期が変更になります。

化学工学会人材育成センターでは、資格制度と継続教育を両輪として連携させた教育体系によって、「技術者の生涯にわたる継続学習」を支援しております(本号会告7ページの図を参照)。

人材育成センター継続教育委員会主催の一部講座では、化学工学技士（基礎）資格保有者を対象にした割引制度を設けております。また、継

続教育講座受講で取得した“継続教育ポイント”（本号会告7ページ参照）による「化学工学技士」試験の無料受験も可能です。

「知的生産性を高めるチームづくり」講座は今年度も実施致します(本号会告13ページ参照)。

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター
資格制度委員会 事務局
〒112-0006 東京都文京区小日向4-2-8
大樹生命文京小日向ビル4F
E-mail: qualification“アットマーク”scej.org
TEL: 03-6801-5563(代)

人材育成センター

化学工学会人材育成センター 継続教育セミナー

2025年度(2025/3～)は以下講座を予定しております。

日時及び詳細は、確定次第、ホームページで公開する予定です。

最新情報は、<https://www.scej.org/>または本ページ下のQRコードからご確認下さい。

講座名	日数	開催日
「プロセス設計」講座		
化工物性、蒸留計算 編 ★◎	2/3日間	7/24～25 + OP：7/28(本号詳細) 1/29～30
塔・槽、熱交換器の設計 編 ★◎	半日×4回	3/3PM, 4PM, 10PM, 21PM 5/19PM, 20PM, 6/2PM, 3PM(本号詳細) 11～12月
ハイドロリックの設計 編 ★◎	2日間	6/9～10(本号詳細) 11/10～11
プロセス基本制御とPFD作成 編 ★◎	2日間	5/15～16(本号詳細) 10/2～3
プラント計装制御-1 ★◎	3日間	6/4～6(本号詳細) 11/19～21
プラント計装制御-2(プロセス制御の理論と応用) ★	2日間	1/22～23(本号詳細)
P&IDの作り方 ★	3日間	6/25～27(本号詳細) 11～12月
バッチ操作を伴うプロセス設計 ★	1日間	11/7(本号詳細)
反応器の設計 ★◎	2.5日間	6/18～20(本号詳細) 1/26～28
ガス分離膜・浸透気化膜分離プロセス及び膜反応器の設計 ★	1.5日間	11/13～14(本号詳細)
モデリング技術の基礎と実践	2日間	10/23～24(本号詳細)
Pythonで気軽に化学工学 ～データ解析・機械学習入門～	3日間	6/13, 7/3, 4(本号詳細)
回転機械(ポンプ・圧縮機)の基礎 ★	2日間	7/10～11(本号詳細)
レイアウトとプロットプランの考え方 ★	2日間	5/22～23(本号詳細) 10/9～10
仕様書の書き方 ～要求を正しく伝えるために～ ★	1日間	9/5(本号詳細)
化学プラントの装置材料技術 ★	2/2.5日間	4/22～23 + OP：4/24PM
化学プロセスの安全性評価手法入門 ★	2日間	5/29～30(本号詳細)
発酵・培養技術の基礎と実践 ～乳酸菌の発酵・培養を題材にした課題解決の考え方～	半日×4回	7/22PM, 23PM, 29PM, 30PM(本号詳細)
知的生産性を高めるチームづくり	1日間	8/1(本号詳細)

★印の講座は受講後に「修了レポート」を実施します。

◎印の講座は、「技士(基礎)応援割引」対象講座です。

オンライン開催時の注意事項

【MS Teams】https://www0.scej.org/jinzai/seminar/seminar_SCEJ_jinzai_ONLINE.pdf

【Zoom】https://www0.scej.org/jinzai/seminar/seminar_SCEJ_jinzai_ONLINE_z.pdf

申込方法 右のQRコードまたは以下のURLよりお申し込み下さい。

<https://service.kktcs.co.jp/smms2/c/scej/event/EventList.htm>

上記講座に関する問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター

「継続教育」事務局

〒112-0006 東京都文京区小日向4-2-8 大樹生命文京小日向ビル4F

E-mail: jinzai-seminar@マーク.scej.org

TEL: 03-6801-5563(代)



化学工学会人材育成センターでは、継続教育と資格制度を両輪として連携させた教育体系によって、『技術者の生涯にわたる継続学習』を支援しております(下図を参照)。

◎化学工学技士(基礎)保有者への受講料割引制度
「プロセス設計」講座の『化工物性・蒸留計算』編、『塔・槽、熱交換器の設計』編、『ハイドロリックの設計』編、『プロセス基本制御とPFD作成』編と、『プラント計装制御-1』講座、『反応器の設計』講座の6講座では、下に示す条件を満たす化学工学技士(基礎)資格保有者を対象として、正会員の半額で受講できる「**技士基礎割**」を実施します。

〈条件〉

1. 化学工学技士(基礎)試験に合格後、資格に関する手続きを完了していること。
2. 正会員であること。(事前に自らの会員情報を確認し、登録内容を更新して下さい)
3. 開催日に卒業または修了後5年以内の社会人であること。

★修了レポート

受講者には学習内容を整理する機会となり、また、派遣企業にも受講生の理解度を測るためにも有用です。2024年度は会告6の表で★印を付けた15講座で実施します。

修了レポートの対象者

レポート実施対象者は、出席基準を満たす受講者が対象です。

修了レポートの提出

- ・受講3週間後の月曜日までに、指定のURL

からレポートをアップロードして頂きます。
・期日までに提出頂いたレポートは、講師が採点します。

修了証

- ・期日までに提出されたレポートで、講師が“学んで欲しいポイントを理解し、一定レベルに達した”とみなした受講者に「修了証」を授与します。
- ・採点したレポートは解答例とともに返却致します。見直して理解を深めて下さい。

出席基準と受講証明書

全ての講座で出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行します。出席基準は以下の通りです。

講座開催日数	出席基準
1日以下	全日程の出席
1.5日	1日以上出席
2日	1.5日以上出席
2.5日～3日	2日以上出席

但し、オンライン開催の際に半日単位で実施した場合には半日2回を1日として計算します。

講座開催日数	出席基準
半日×2回以下	全日程の出席
半日×3回	2回以上の出席
半日×4回	3回以上の出席
半日×5または6回	4回以上の出席

継続教育ポイント

- ①化学工学技士(基礎)取得者に対して30pt付与します。

②出席基準を満たした受講者に、下表の“継続教育ポイント”を授与します。

受講した講座の開催日数	継続教育ポイント
0.5～1日	10 pt
1.5～2日	20 pt
2.5～3日	30 pt

但し、オンライン開催時に半日単位で実施した場合には半日2回を1日として計算します。

受講した講座の開催日数	継続教育ポイント
1～2回	10 pt
3～4回	20 pt
5～6回	30 pt

③修了レポートに合格し、修了証を授与された方には、上記②によるポイントを50%加算します。

“継続教育ポイント”による特典

「化学工学技士(基礎)」の取得、または、各講座の受講及び修了レポートによって獲得した“継続教育ポイント”の合計が100ptに達した受講者には、100ptにつき1回、無料で「化学工学技士」試験を受験できます。(詳細は今後掲載予定の「化学工学技士」受験に関するご案内をご確認ください)

取得した“継続教育ポイント”に関するお問い合わせ

正会員であれば、過去に取得した“継続教育ポイント”がマイページに表示されます。個人会員以外の方で、自身の“継続教育ポイント”を確認したい方は、jinzai-seminar “アットマーク” scej.orgまでメールでお問い合わせ下さい。

資格付与と事業及び人材育成事業による『技術者の生涯にわたる継続学習』支援

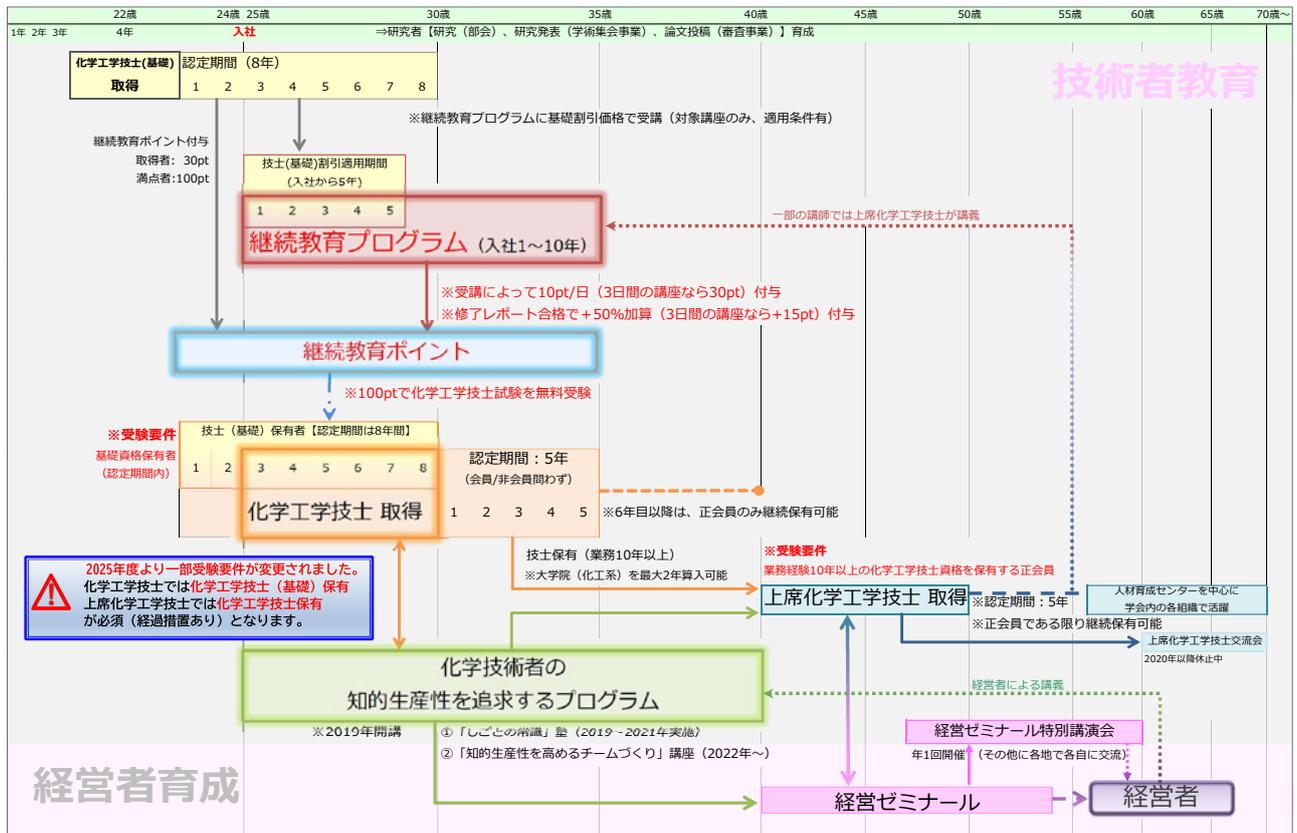


図 資格制度事業及び人材育成事業による『技術者の生涯にわたる継続学習』支援

「プロセス設計」講座のご案内

プロセス設計の第一歩は、取り扱う化合物の物性を知ることです。

プロセスの構想を決め、基本設計に入ると、まずプロセスの基本である熱物質収支を算出し、PFDを作成するためには、プロセスで取り扱う化合物の基本物性値と熱力学物性値が必要です。次に、機器の主要寸法を算出するサイジングのためには、粘度、熱伝導率などの輸送物性値が必要となります。

「プロセス設計」講座の『化工物性・蒸留計算』編【7月24日(木)～25日(金)及び1月29日(木)～30日(金)【MS Teams】】では、最初に、物性(基本物性定数、熱力学物性、輸送物性)及び物性推算について理解を深めた後、2成分系、多成分系など蒸留塔の設計に必要な蒸留計算について演習問題を手計算で解きながら学んでいただき、3日目には、希望者を対象としてPRO/IIを用いた蒸留計算演習【7月28日(月)】を実施し、手計算の例題をシミュレータで解くことによって、手計算の精度の確認や、シミュレータの利便性などを知ることを重視して、学んでいただきます。

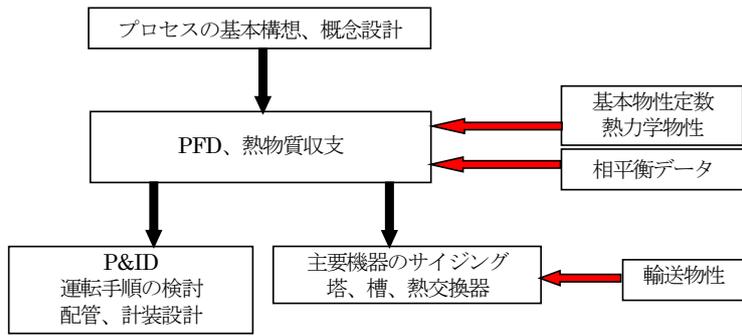


図 プロセス設計と必要な物性値

続いて、『塔・槽、熱交換器の設計』編【5月19日(月)、20日(火)、6月2日(月)、3日(火)及び11～12月頃【PM×全4回MS Teams】】では、それぞれ演習を交えながら設計法を学びます。さらには、『ハイドロリックの設計』編【6月9日(月)～10日(火)及び11月10日(月)～11日(火)】では、演習に加え、流体流動実習やポン

プキャピテーション実習などを交えて理解を深めていただきます。また、『プロセス基本制御とPFD作成』編【5月15日(木)～16日(金)及び10月2日(木)～3日(金)】では、中味流体を取り扱うという視点からプロセス制御を構築していき、更に流体の流れや機器情報と合わせてPFDとして具現化していく手法を学んでいただきます。

化工物性、蒸留計算 編 (オンライン版第9回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

日時(オンライン開催) 2025年7月24日(木)、25日(金)

日時(対面開催) 2025年7月28日(月)【オプション】

対象 以下の何れかに該当される方
 ・化工物性、蒸留計算の基本を学びたい方
 ・シミュレータの蒸留計算の原理を知りたい方
 ・化学・石油精製プラントなどに関連のあるエンジニア(2～10年程度の経験者)
 ・「プロセス設計」講座 各編 修了者/受講予定者

受講のメリット

- (1) プロセス設計に使用する化工物性を理解できます。
- (2) 気液平衡について基礎、非理想系の気液平衡、これらの推算式を理解できます。
- (3) 2成分系の蒸留計算、多成分系の蒸留計算の原理を理解できるようになります。
- (4) 本講座では事前アンケートを実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。
- (5) 修了レポートにより、理解度を更に深められます。
- (6) オプションのシミュレータ演習を併せて受講することで、蒸留計算におけるシミュレータのブラックボックスの中身を理解できます。

講座内容

本講座では、PRO/II 演習以外の講義をMicrosoft Teamsを利用したオンラインで、また、PRO/II 演習(オプション)を対面で、以下のスケジュールで計3日にわたり開催致します。

オンライン開催時の注意事項 本号会告6ページ参照

会場(対面開催時) 化学工学会会議室 東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩7分

※第1, 2日目受講の際にはExcel(ゴールシーク、ソルバー機能)を使えるパソコンで受講し

て下さい。

ゴールシーク、ソルバー機能を使った経験がない方は、本会「化学工学」誌に連載された「Excelで気軽に化学工学」第1回(2004年7月号pp.382-386)や「Excelで解く化学工学10大モデル」(2014年11月号～2016年1号)、あるいは、「Excelで気軽に化学工学」(化学工学会編・丸善刊)等で予習してください。個人会員の方であれば、電子図書館で「化学工学」誌を閲覧することができます。※オプションのシミュレータ演習受講者【3日目対面開催】には、PRO/IIをインストールされたパソコンをご用意致します。

第1日: 7月24日(木)9:30～17:10

1. プロセス設計と物性値
2. 気液平衡

第2日: 7月25日(金)9:30～17:10

3. 2成分系の蒸留計算
4. 多成分系の蒸留と特殊な蒸留

第3日【オプション】: 7月28日(月)9:30～17:00

5. シミュレータ(PRO/II)による蒸留計算演習

※第3日目のみ対面開催となります。

※既に、2日間コースを受講済みの方は、3日目のPRO/II演習(オプション)のみを受講することも可能です。

講師 経験豊富なエンジニア陣

澤井直明氏(日揮グローバル(株)エンジニアリングソリューションズセンター プロセスエンジニアリング部)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では、受講者の方々に受講後に復習していただき、講義内容の理解を深めていただく意図で、修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は本号会告7ページ参照)

継続教育ポイント 2日コースの方は受講証明書で20pt付与、更に修了証で10pt加算します。3日コースの方は受講証明書で30pt付与、更に修了証で15pt加算します。(詳細は本号会告7ページ参照)

募集定員 10名(定員になり次第締切)

受付締切 7月16日(水)

受講料(消費税10%込)

(2日間)個人正会員 < 技士基礎割 > 22,000円(本体20,000円)

(2日間)個人正会員 44,000円(本体40,000円)

(2日間)維持会員/特別会員の社員 55,000円(本体50,000円)

(2日間)地区会員の社員 66,000円(本体60,000円)

(2日間)会員外 77,000円(本体70,000円)

【3日間】個人正会員 < 技士基礎割 * >

38,500円(本体35,000円)

【3日間】個人正会員 71,500円(本体65,000円)

【3日間】維持会員/特別会員の社員 88,000円(本体80,000円)

【3日間】地区会員の社員 104,500円(本体95,000円)

【3日間】会員外 121,000円(本体110,000円)

* 技士基礎割の条件: 本号会告7参照

申込方法・問い合わせ先 本号会告6参照

塔・槽、熱交換器の設計 編 (オンライン版第10回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

日時 2025年5月19日(月)、20日(火)、6月2日(月)、3日(火)

対象 以下の何れかに該当される方
 ・塔・槽の設計基礎を学びたい方
 ・熱交換器の設計基礎を学びたい方
 ・化学・石油精製プラントなどに関連のある初級エンジニア(1～5年程度の経験者)
 ・「プロセス設計」講座 各編 修了者/受講予定者

受講のメリット

- (1) 蒸留塔の構造、塔径計算、ドラムのサイジングを学べます。
- (2) 熱交換器設計の基本を学べます。
- (3) 本講座では事前アンケートを実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。
- (4) 修了レポートにより、理解度を更に深められます。

講座内容

本講座は、Microsoft Teamsを利用したオンラ

インで、週2回、4時間/回(目安として、講義60~90分につき休憩を10分程度)のペースで、計4回にわたり開催致します。

オンライン開催時の注意事項 本号会告6ページ参照

第1日：5月19日(月)13:00~17:00

7. 塔・槽の設計, 設計演習

第2日：5月20日(火)13:00~17:00

7. 塔・槽の設計, 設計演習

第3日：6月2日(月)13:00~17:00

8. 熱交換器の設計, 設計演習

第4日：6月3日(火)13:00~17:00

8. 熱交換器の設計, 設計演習

※関数電卓は各自ご用意下さい。

講師 経験豊富なエンジニア

白石 浩氏(日揮グローバル(株)ETD部, 上席化学工学技士)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では、受講者の方々に受講後に復習していただき、講義内容の理解を深めていただく意図で、修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は本号会告7ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には20 ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に10 ptを加算致します。(詳細は本号会告7ページ参照)

募集定員 20名(定員になり次第締切)6名に達しない場合は、開催中止となる場合がございます。

受付締切 5月12日(月)

受講料(消費税10%込)

個人正会員<技士基礎割*>

22,000円(本体20,000円)

個人正会員 44,000円(本体40,000円)

維持会員/特別会員の社員

55,000円(本体50,000円)

地区会員の社員 66,000円(本体60,000円)

会員外 77,000円(本体70,000円)

*技士基礎割の条件: 本号会告7参照

申込方法・問い合わせ先 本号会告6参照

ハイドロリックの設計 編 (改定第15回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

日時 2025年6月9日(月)~10日(火)

場所 出光興産(株)技術研修センター
(tel: 0436-61-7841)
〒299-0107 千葉県市原市姉崎海岸26 (JR内房線「姉ヶ崎」駅下車徒歩10分)

対象 以下の何れかに該当される方
・ハイドロリックの設計基礎を学びたい方
・化学・石油精製プラントなどに関連のある初級エンジニア(1~5年程度の経験者)
・「プロセス設計」講座 各編 修了者/受講予定者

受講のメリット

- (1)ハイドロリックの計算原理, 圧力損失計算, 配管サイズの決め方, ポンプの基礎を学びます。
- (2)ベルヌーイ実証実験, 流動実験, ポンプキャビテーション実験, 水撃実験などの実習で学びます。
- (3)展示室のポンプ, コンプレッサー, 制御弁, バルブのカットモデルを見学でき, その内部構造を学びます。
- (4)修了レポートにより, 理解度を更に深められます。

ます。

講座内容

第1日：6月9日(月)9:00~16:30

諸連絡(9:00~9:10)

9. ハイドロリックの設計, 設計演習 (9:10~16:00)

10. ハイドロリック実習に先立って (16:00~16:30)

第2日：6月10日(火)9:00~16:15

11. ハイドロリック実習(9:10~16:15)

※2班に分かれて以下の実験を実施します。

ベルヌーイ実証実験

流動実験

ポンプキャビテーション実験

水撃実験

※昼食後にカットモデル見学(12:30~13:10)

※2日間の昼食は, 本会でご準備致します。

講師 経験豊富なエンジニア

赤間 貴朗氏(日揮グローバル(株)プロセステクノロジー本部 プロセスエンジニアリング部)

小山 義成氏(出光興産(株)製造技術部技術研修センター)

岡崎 克孝氏(出光興産(株)製造技術部技術研修センター)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では、受講者の方々に受講後に復習していただき、講義内容の理解を深めていただく意図で、修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は本号会告7ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には20 ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に10 ptを加算致します。(詳細は本号会告7ページ参照)

募集定員 12名(定員になり次第締切)

受付締切 5月9日(金)

受講料(消費税10%込)

個人正会員<技士基礎割*>

38,500円(本体35,000円)

個人正会員 49,500円(本体45,000円)

維持会員/特別会員の社員

60,500円(本体55,000円)

地区会員の社員 71,500円(本体65,000円)

会員外 82,500円(本体75,000円)

*技士基礎割の条件: 本号会告7参照

申込方法・問い合わせ先 本号会告6参照

プロセス基本制御とPFD作成 編 (改定第11回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

日時 2025年5月15日(木), 16日(金)

場所 化学工学会会議室(東京メトロ丸の内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩7分)

対象 以下の何れかに該当される方
・流体の流れや機器情報と合わせてPFDとして具現化する手法を学びたい方
・化学・石油精製プラントなどに関連のある初級エンジニア(3~5年程度の経験者)
・「P&IDの作り方」講座 受講予定者
・「プロセス設計」講座 各編 修了者/受講予定者
・「プラント計装制御-1」講座 修了者/受講予定者

受講のメリット

- (1)化工物性, 蒸留計算編, 塔・槽, 熱交換器の設計編, ハイドロリックの設計編とともに本編を受講することでプロセス設計の真髄を習得できます。

(2)「P&IDの作り方」講座を受講する前の事前学習として有効です。

(3)本講座では事前アンケートを実施し, 受講者の経験や受講目的などを把握し, 講義の参考と致します。

(4)修了レポートにより, 理解度を更に深められます。

講座内容

第1日：5月15日(木)9:55~17:00

諸連絡(9:55~10:00)

12. 蒸留塔周りの制御(10:00~12:30)

13. 各種設備の制御の基本(蒸留塔以外)(13:30~15:55)

14. PFD作成実習(16:05~17:00)

第2日：5月16日(金)9:30~16:00

14. PFD作成実習(続き)(9:30~12:30及び13:30~14:55)

15. 計装・制御についての補足事項(15:05~16:00)

※2025年度よりPFD作成実習時間を増やしております(個別での作業, グループディスカッション, 作成実習(まとめ), 解説)。

講師 経験豊富なエンジニア

永野 健一郎氏(日揮グローバル(株), 上席化学工学技士, 技術士)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では、受講者の方々に受講後に復習していただき、講義内容の理解を深めていただく意図で、修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は本号会告7ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には20 ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に10 ptを加算致します。(詳細は本号会告7ページ参照)

募集定員 22名(定員になり次第締切)

受付締切 5月7日(水)

受講料(消費税10%込)

個人正会員<技士基礎割*>

22,000円(本体20,000円)

個人正会員 44,000円(本体40,000円)

維持会員/特別会員の社員

55,000円(本体50,000円)

地区会員の社員 66,000円(本体60,000円)

会員外 77,000円(本体70,000円)

*技士基礎割の条件: 本号会告7参照

申込方法・問い合わせ先 本号会告6参照

「レイアウトとプロットプランの考え方」講座(第30回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

概要 レイアウトの基礎概念, 考え方とプロットプランの決め方などについて解説し, 新規や既存プラントのレイアウトやプロットプランの根底にある考え方を学んでいただき, さらに簡単な演習によって理解を深めていただきます。また, エンジニア会社とユーザーである化学メーカーとの考え方の相違点を理解していただきます。

日時 2025年5月22日(木)~23日(金)

場所 化学工学会会議室(東京メトロ丸の内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩7分)

対象 以下の何れかに該当される方
・レイアウトやプロットプランを考えなければならない人
・プロジェクトエンジニア, 配管エンジニア, プラントエンジニア, プロセスエンジニアなどで5~7年の実務経験のある人(ある程度)

ラントに関する知識を持っている人)

受講のメリット

- (1) レイアウトとプロットプランの基本的考え方を学べます。
- (2) レイアウトとプロットプランを決める上で必要な法律・規格・基準の相互関係を理解できます。
- (3) レイアウトとプロットプラン作成上のノウハウを取得できます。
- (4) エンジニアリング会社と化学メーカーとの考え方を理解できます。
- (5) 本講座では事前アンケートを実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。
- (6) 修了レポートにより、理解度を更に深められます。

講座内容

第1日：5月22日(木)9:55～17:00

諸連絡(9:55～10:00)

レイアウト作成のための基礎知識(10:00～12:30&13:30～15:00)

レイアウト演習(15:00～17:00)

第2日：5月23日(金)9:30～16:30

プロットプラン作成のための基礎知識(9:30～12:30)

プロットプラン演習(13:30～16:30)

講師 経験豊富なエンジニア陣

浅野 健治氏(浅野生産革新攪拌研究所, 上席化学工学技士)

木村 修氏(工業化技術・教育支援事務所代表, 元宇部興産(株))

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では、受講者の方々に受講後に復習していただき、講義内容の理解を深めていただく意図で、修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は本号会告7ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には20 ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に10 ptを加算致します。(詳細は本号会告7ページ参照)

募集定員 12名(定員になり次第締切)

受付締切 5月14日(水)

受講料(消費税10%込)

個人正会員	44,000円(本体40,000円)
維持会員/特別会員の社員	55,000円(本体50,000円)
地区会員の社員	66,000円(本体60,000円)
会員外	77,000円(本体70,000円)

申込方法・問い合わせ先 本号会告6参照

「化学プロセスの安全性評価手法入門」講座(第15回・ハイブリッド)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

概要 化学プロセスを安全に設計するためには、安全管理システムを構築し、実行する必要があります。そこで、システムに潜在する本質的な危険を見極め、その潜在危険を顕著化させないための合理的な安全対策を検証していただくために、HAZOP、フォールトツリー解析(FTA)、災害影響解析の基礎を【実習】を通じて、理解していただきます。

日時 2025年5月29日(木)～30日(金)

対象 以下の何れかに該当される方
 ・化学プロセスの安全について学びたい技術者、研究者
 ・製造業におけるプラント設備設計・運転管理技術者(1～5年程度の経験者)

受講のメリット

- (1) 化学プロセスの安全のための安全性評価手法として、HAZOP、FTA、災害影響解析の基礎を学べます。
- (2) 演習を通じて、HAZOPにおける解析の視点、潜在危険の洗い出しを理解できます。
- (3) 本講座では事前アンケートを実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。
- (4) 修了レポートにより、理解度を更に深められます。

講座内容

2025年度は、Microsoft Teamsを利用したオンラインと会場での対面開催のハイブリッドで開催致します。

オンライン開催時の注意事項 本号会告6ページ参照

会場(対面開催時) 化学工学会会談室

東京メトロ丸の内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩7分

第1日：5月29日(木)9:55～17:30 上田氏

諸連絡(9:55～10:00)

『化学プラントのプロセス安全管理』(10:00～11:30)

『HAZOP』(12:30～14:10)

『実習-① HAZOP実習 ～演習を通してのHAZOPにおける解析の視点』(14:20～15:50)

『実習-② HAZOP実習 ～HAZOPによる潜在危険の洗い出し』(16:00～17:30)

第2日：5月30日(木)9:30～17:10 角田氏

『安全性評価手法(種類の概説)』(9:30～9:40)

『フォールトツリー解析(FTA)』(9:40～11:50)

『実習-③ FTA実習』(12:00～12:45)

『事故影響解析手法』(13:45～15:45)

『実習-④ 事故影響解析手法(概論)実習』(15:55～17:10)

講師 安全分野で経験豊富なエンジニア

上田 邦治氏(千代田化工建設(株)技術本部設計安全・防消火・環境部)

角田 浩氏(レジリエント安全研究所, 元東洋エンジニアリング(株), 上席化学工学技士)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では、受講者の方々に受講後に復習していただき、講義内容の理解を深めていただく意図で、修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は本号会告7ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には20 ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に10 ptを加算致します。(詳細は本号会告7ページ参照)

募集定員 オンライン12名+オンライン8名(定員になり次第締切)

受付締切 5月21日(水)9:00

受講料(消費税10%込)

個人正会員	44,000円(本体40,000円)
維持会員/特別会員の社員	55,000円(本体50,000円)
地区会員の社員	66,000円(本体60,000円)
会員外	77,000円(本体70,000円)

申込方法・問い合わせ先 本号会告6参照

「プラント計装制御-1」講座(改訂第7回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

概要 若手プロセスエンジニアおよび計装制御エンジニアが、プロセスプラントのプロセス

改造、新設時に知っておくべき、プロセスプラントで求められるプラント計装・制御の基礎を学んでいただきます。また、今後プロセスプラントの中堅エンジニアとして活躍するために必要なプラント計装・制御の基礎技術を再整理していただきます。

日時 2025年6月4日(水)～6日(金)

場所 化学工学会会談室(東京メトロ丸の内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩7分)

横河電機(株)デモルーム/トレーニングセンター(JR三鷹駅(東京駅から中央線特別快速30分、快速37分)下車徒歩7分)
 〒180-8750 武蔵野市中町2-9-32
<https://www.yokogawa.co.jp/about/yjp/about-us/company-branch/>

対象 以下の何れかに該当される方

- ・プロセス技術者(2～5年程度の経験者)
- ・計装制御技術者(2～3年程度の経験者)
- ・「プロセス設計」講座各編 修了者/受講予定者

受講のメリット

- (1) プラント制御・計装の基本を理解できます。
- (2) 計装設計の基本、制御方式選定の基礎を習得できます。
- (3) 横河電機殿のご協力により、デモルームにてDCSによる制御動作と現場機器の動作の関連性を、トレーニングセンターにてDCSを使った制御操作実習を体験できます。
- (4) 講義と実習により、DCSと安全計装への理解が深まります。
- (5) 適切な制御ループ構成を組むことができるようになります。
- (6) 最新のプラント情報システムについて学べます。
- (7) 本講座では事前アンケートを実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。
- (8) 修了レポートにより、理解度を更に深められます。

講座内容

第1日：6月4日(水)9:55～17:30 於：化学工学会会談室

諸連絡(9:55～10:00)

1. プラント計装制御概論(10:00～10:55;赤城氏)
2. DCSの機能と設計(11:05～12:25;赤城氏)
3. プロセス計測操作端(13:15～15:55;武藤氏)
計装システムの構成、流量、液面計測器、温度・圧力計測器、分析計、調節弁
4. 安全計装(16:05～17:30;竹内氏)

第2日：6月5日(木)9:00～16:00 於：横河電機デモルーム/トレーニングセンター

5. デモルームでのDCSの操作の概要とDCSによる制御動作と現場機器の動作の関連性(9:00～10:20)
6. トレーニングセンターでのCENTUMを使った制御操作実習(10:40～16:00;田島氏)
(1)バッチ制御, (2)連続制御, (3)比率制御, (4)定量仕込制御, (5)プログラム制御, (6)PID制御

第3日：6月6日(金)9:30～17:00 於：化学工学会会談室

7. 標準的なプロセス制御ループ事例(9:30～12:00;小瀧氏)
8. プラントワイド制御ループ構成の考え方(13:00～15:25;矢野氏)
9. プラント情報システム(15:35～17:00;中村氏)

講師 経験豊富なエンジニア

赤城 範方氏(日揮グローバル(株)プロジェクトソリューションズセンター 電気計装システム部)

武用 吉史氏(日揮グローバル(株)プロジェクトソリューションズセンター 電気計装システ

ム部)
 武藤 恒司氏 (日揮グローバル (株) プロジェクトソリューションズセンター 電気計装システム部)
 田島 保之氏 (横河ソリューションサービス (株) トレーニングセンター)
 小瀧 嵩明氏 (日揮グローバル (株) プロジェクトソリューションズセンター プロセスエンジニアリング部)
 矢野 尚貴氏 (日揮グローバル (株) プロジェクトソリューションズセンター プロセスエンジニアリング部)
 中村 和仁氏 (日揮グローバル (株) プロジェクトソリューションズセンター 電気計装システム部)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では、受講者の方々に受講後に復習していただき、講義内容の理解を深めていただく意図で、修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は本号会告7ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には30 ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に15 ptを加算致します。(詳細は本号会告7ページ参照)

募集定員 12名(定員になり次第締切)

受付締切 5月27日(火)

受講料(消費税10%込)

個人正会員<技士基礎割*>

49,500円(本体45,000円)

個人正会員 71,500円(本体65,000円)

維持会員/特別会員の社員

88,000円(本体80,000円)

地区会員の社員 104,500円(本体95,000円)

会員外 121,000円(本体110,000円)

*技士基礎割の条件: 本号会告7参照

申込方法・問い合わせ先 本号会告6参照

「Pythonで気軽に化学工学 ~データ解析・機械学習入門~」 講座(第4回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

概要 業務上必要なデータ解析、データの可視化、推定モデル作成や機械学習をPythonで自ら行えるようになるために、講義では実際にPythonを使い、用意したデータとコードで手を動かしてもらいながら学んでいただきます。

日時 2025年6月13日(金)、7月3日(木)、4日(金)

場所 化学工学会会議室(東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩7分)

対象

- ・大量な現場データ解析をどう進めれば良いか悩みを抱えている方
- ・データ解析・統計処理・可視化・推定モデル等に興味のある方
- ・Pythonのインストールと基礎的な使い方については、各自で事前学習ができる方
- ・Pythonを使ったデータ解析に興味がある方。Pythonでできるデータ解析の概要を知りたい方
- ・Pythonの初心者から初級者、インストールして動かしてみたことはあるけど、業務で使う際にどのようにすればよいかわからない方(自分でできる人は対象外とします)

受講のメリット

- (1) Pythonを使ったデータ解析の知識、業務へのアプローチの理解が深まり、実践に生かすこ

とができます。

(2) プロセサデータ・実験データを見た時に、適切なデータ解析を考察する習慣をつけるための第一歩となります。

(3) 本講座では事前アンケートを実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。

講座内容

明治大学金子宏昌氏著:「Pythonで気軽に化学・化学工学(化学工学会編・丸善出版・2,970円)」、
 「化学のためのPythonによるデータ解析・機械学習入門(オーム社・3,520円)」の内容を中心に説明、解説、演習を行います。

書籍代は参加費には含まれません。上記2冊のどちらかは各自でご用意下さい(講義資料は参加者に別途配布致します)。

第1日: 6月13日(金)9:55~17:00【畠沢氏】

諸連絡(9:55~10:00)

データ基礎、データ可視化

線形モデリング基礎

Pythonの基本操作方法

初日は学会でパソコンをご用意致します。

なお、第2日目までの約2週間は各自で自己学習を行って頂きます。ですので、2日目以降使うパソコンは、ソフトをインストールした自らのパソコンで受講して頂いても構いません。(学会で用意したパソコンを使うことも可能です)。

第2日: 7月3日(木)10:00~17:00【森下氏】

機械学習概要[復習](機械学習とは?、機械学習でできること)

教師なし学習[可視化&クラスタリング]

PCA, t-SNE, UMAP, 階層的クラスタリング、k-means++, PAM, DBSCAN, GMM

第3日: 7月4日(金)9:30~16:30【森下氏】

教師あり学習[予測&分類]

k-NN, OLS, PLS, 決定木, ランダムフォレスト, サポートベクターマシン(SVM), サポートベクター回帰(SVR)

その他

モデルの検証、データ補完、変数選択、特徴量重要度、モデルの適用範囲(AD)、ソフトセンサー、異常検知、ベイズ最適化(BO)、深層学習

講師

畠沢 翔太氏(コニカミノルタ(株))

森下 敏治氏(製薬会社勤務、明治大学データ化学工学金子研究室博士、上席化学工学技士)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には30 ptを授与致します。(詳細は本号会告7ページ参照)

募集定員 10名(定員になり次第締切)6名に達しない場合は、開催中止となることがございます。

受付締切 6月5日(木)

受講料(消費税10%込)

個人正会員 71,500円(本体65,000円)

維持会員/特別会員の社員

88,000円(本体80,000円)

地区会員の社員 104,500円(本体95,000円)

会員外 121,000円(本体110,000円)

申込方法・問い合わせ先 本号会告6参照

「反応器の設計」講座(第41回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

概要 気相反応器、液相反応器、流動層反応器

の設計、および反応器のスケールアップを行うための基礎知識を習得することを目標とします。特に、反応器周りの熱/物質収支について基本的な考え方を講義し、実験室データから実装置のプロセス設計ができるように、基礎を学んでいただきます。

日時 2025年6月18日(水)~20日(金)

場所 化学工学会会議室(東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩7分)

対象 以下の何れかに該当される方

- ・化学反応を扱う研究者・技術者
 - ・パイロットプラントの設計を行う技術者
 - ・プロセス設計技術者(2~5年程度の経験者)
- いずれも、Excelのゴールシーク、ソルバー機能の知見があること(知見無い方は予習要)

受講のメリット

- (1) 既知の熱力学データを基に、気体反応の熱/物質収支を計算できるようになります
- (2) 実験室データからのスケールアップの考え方を習得でき、液相反応器の実装置の設計に役立つ知識を得られます。
- (3) 本講座では事前アンケートを実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。
- (4) 修了レポートにより、理解度を更に深められます。
- (5) 最新の流動層反応器の知識を得られます。
- (6) 演習で使用したexcelファイルはお持ち帰りできます。

講座内容

第1日: 6月18日(水) 兵藤氏

諸連絡(9:55~10:00)

1. 反応器概論(10:00~12:30)

2. 気体反応器-反応器廻りの熱収支・物質収支計算-(13:15~17:45)

第2日: 6月19日(木) 福元氏

3. 液相反応器の設計(9:30~16:30)

第3日: 6月20日(金) 渡辺氏

4. 流動層反応器の設計(9:30~12:30)

※演習用PCは当会でご準備致します。

※なお、本講座の演習では、Excelのゴールシーク、ソルバー機能を使います。

ゴールシーク、ソルバー機能を使った経験がない方は、本会「化学工学」誌に連載された「Excelで気軽に化学工学」第1回(2004年7月号pp.382-386)や「Excelで解く化学工学10大モデル」(2014年11月号~2016年1号)、あるいは、「Excelで気軽に化学工学」(化学工学会編・丸善刊)等で予習してください。個人会員の方であれば、電子図書館で「化学工学」誌を閲覧することができます。

講師 経験豊富なエンジニア陣

兵藤 伸二氏(千代田化工建設(株)技術本部 石油・化学・新エネルギープロセス設計部、上席化学工学技士)

福元 裕介氏(東洋エンジニアリング(株)エンジニアリング・技術統括本部)

渡辺 康広氏(千代田化工建設(株)技術本部 石油・化学・新エネルギープロセス設計部)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では、受講者の方々に受講後に復習していただき、講義内容の理解を深めていただく意図で、修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は本号会告7ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には30 ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に15 ptを加算致します。(詳細は本号会告7ページ参照)

募集定員 12名(定員になり次第締切)

受付締切 6月10日(火)

受講料(消費税10%込)

個人正会員<技士基礎割*>

個人正会員 33,000円(本体30,000円)
 維持会員/特別会員の社員 60,500円(本体55,000円)
 74,250円(本体67,500円)
 地区会員の社員 88,000円(本体80,000円)
 会員外 101,750円(本体92,500円)
 * 技士基礎割の条件: 本号会告7参照
 申込方法・問い合わせ先 本号会告6参照

「P&IDの作り方」講座(第32回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

概要 P&IDを取り扱う初心者を対象に、P&IDに使用される機器、配管、計装関連の記号とその意味、配管関係、計装関係、機器周りのP&IDとその作成方法等を、部分から全体へ、事例と実習を活用しながら学習していただきます。さらに、実際のプラントの実例に則してP&IDの作成実習を行います。

日時 2025年6月25日(水)~27日(金)
場所 化学工学会会議室(東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩7分)

対象 以下の何れかに該当される方
 ・P&IDを読む、あるいは作成する必要がある人
 ・プロセス設計技術者、プロジェクトエンジニアなど(3~5年程度の実務経験者)
 ・「プロセス設計」講座各編 修了者
 ・「プラント計装制御-1」講座 修了者
受講のメリット

- (1) 複雑に見えるP&IDに何が書いてあるかわかるようになります。
- (2) P&IDに書かれていることの意味を理解できるようになります。
- (3) PFDからP&IDを書く演習を通して、自分でP&IDを描くことができます。
- (4) P&ID作成のノウハウを習得できます。
- (5) 本講座では事前アンケートを実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。
- (6) 修了レポートにより、理解度を更に深められます。

講座内容

第1日: 6月25日(水)9:55~17:00
 (9:55~10:00)諸連絡
 (10:00~13:00)調整中

1. P&IDとは
2. P&IDの読み方
3. 配管関係のP&ID表示 (14:00~17:00)小山氏
4. 計装関連のP&ID表示
5. 機器まわりのP&ID表示

第2日: 6月26日(木)

6. P&ID作成実習(9:30~17:30)能村氏、永淵氏

第3日: 6月27日(金)

7. P&ID作成実習解説(9:30~12:30)中野氏
 8. 運転とP&ID(13:30~16:30)日比野氏
- ※P&ID作成実習を行いますので、シャープペンと消しゴムをご用意下さい。

講師 千代田化工建設(株)、東洋エンジニアリング(株)、日揮(株)の経験豊富なエンジニア調整中(千代田化工建設(株)インテグリティマネジメント部P&ID設計セクション)
 小山 武志氏(日揮グローバル(株)プロジェクトソリューションズセンター エンジニアリング本部 プロセスエンジニアリング部 グループリーダー)
 橋田 洋一氏(テックプロジェクトサービス(株)設計本部 設備設計部)
 平木 健一氏(東洋エンジニアリング(株)エン

ジニアリング・技術統括本部 プロセスエンジニアリング部)
 中野 了氏(千代田化工建設(株)インテグリティマネジメント部 P&ID設計セクション)
 日比野 毅氏(日揮グローバル(株)エネルギーソリューションズ エネルギートランジション本部 スタートアップ&オペレーションサービス部 コミュニケーション担当マネージャー)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では、受講者の方々に受講後に復習していただき、講義内容の理解を深めていただく意図で、修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は本号会告7ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には30 ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に15 ptを加算致します。(詳細は本号会告7ページ参照)

募集定員 12名(定員になり次第締切)

受付締切 6月17日(火)

受講料(消費税10%込)

個人正会員 66,000円(本体60,000円)
 維持会員/特別会員の社員 82,500円(本体75,000円)
 地区会員の社員 99,000円(本体90,000円)
 会員外 115,500円(本体105,000円)

申込方法・問い合わせ先 本号会告6参照

「回転機械(ポンプ・圧縮機)の基礎」講座(第13回・ハイブリッド)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

概要 本講座では、ケミカルエンジニアが知っておくべき回転機械(ポンプ・圧縮機)の基礎、各種タイプの特徴、選定、トラブル事例などの応用知識を学んでいただきます。

日時 2025年7月10日(木)、11日(金)

対象 以下の何れかに該当される方
 ・化学プラントの研究、設計、運転、設備管理などを担当している方(3~5年程度の経験者)
 ・ポンプ、コンプレッサーを使うエンジニア(3~5年程度の経験者)

受講のメリット

- (1) ポンプ・圧縮機の基礎を理解できます。
- (2) タイプの選定方法や応用知識の習得を通して、回転機械適用における注意点を把握できます。
- (3) 本講座では事前アンケートを実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。
- (4) 修了レポートにより、理解度を更に深められます。

講座内容

2025年度も、Microsoft Teamsを利用したオンラインと会場での対面開催のハイブリッドで開催致します。

オンライン開催時の注意事項 本号会告6ページ参照

会場(対面開催時) 化学工学会会議室

東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩7分

第1日: 7月10日(木)9:55~17:30 古賀氏

1. ポンプの基礎
2. ポンプの選定と注意点
3. 駆動機(電動機、可変速電動機、蒸気タービン)

第2日: 7月11日(金)9:30~17:00 内田氏

4. 圧縮機の基礎(含むファン・ブロワーと真空ポンプ)
5. 遠心圧縮機
6. 往復圧縮機
7. トラブル写真集

講師 回転機器について経験豊富なエンジニア陣

古賀 俊広氏(千代田化工建設(株)技術本部 機械設計部 回転機械セクション)

内田 拓哉氏(千代田化工建設(株)技術本部 機械設計部 回転機械セクション)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では、受講者の方々に受講後に復習していただき、講義内容の理解を深めていただく意図で、修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は本号会告7ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には20 ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に10 ptを加算致します。(詳細は本号会告7ページ参照)

募集定員 オンライン12名 + オンライン8名(定員になり次第締切)

受付締切 7月2日(水)

受講料(消費税10%込)

個人正会員 44,000円(本体40,000円)
 維持会員/特別会員の社員 55,000円(本体50,000円)
 地区会員の社員 66,000円(本体60,000円)
 会員外 77,000円(本体70,000円)

申込方法・問い合わせ先 本号会告6参照

「発酵・培養技術の基礎と実践~乳酸菌の発酵・培養を題材にした課題解決の考え方~」講座(第3回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

概要 乳酸菌を例にして、発酵・培養を検討するために必要となる基本的知識を学んでいただきます。また、発酵・培養で解決できる課題の抽出とその方策を解説し、開発から実装に向けて検討する際に必要な着眼点と思考プロセスを学んでいただきます。

日時 2025年7月22日(火)、23日(水)、29日(火)、30日(水)

対象 以下の何れかに該当される方
 ・発酵・培養技術について、基礎から応用まで習得したい方
 ・開発から実装までの流れを知りたい方
受講のメリット

- (1) 発酵・培養技術の基礎を習得できます。
- (2) 乳酸菌を活用した発酵・培養技術を基礎から応用まで体系的に学べます。
- (3) 開発から実装に向けて検討する際に必要な着眼点と思考プロセスを習得できます。
- (4) 本講座では事前アンケートを実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。

講座内容

本講座は、Zoomを利用したオンラインで、週2回、3時間半/回(目安として、講義60~90分につき休憩を10分程度)のペースで、計4回にわたり開催致します。

オンライン開催時の注意事項 本号会告6ページ参照

第1日: 7月22日(火)13:00~16:30

1. 発酵・培養の技術と発酵・培養の検討で重要となるパラメーターの紹介

2. 菌体の生産性の効率化において重要となる視点と事例の紹介(前半)

第2日：7月23日(水)13:00～16:30

2. 菌体の生産性の効率化において重要となる視点と事例の紹介(後半)

第3日：7月29日(火)13:00～16:30

3. 菌の発酵・培養による物質生産の効率化において重要となる視点と事例の紹介(前半)

第4日：7月30日(水)13:00～16:30

3. 菌の発酵・培養による物質生産の効率化において重要となる視点と事例の紹介(後半)

4. 食品の発酵工程の効率化において重要となる視点と事例の紹介

講師 発酵・培養技術について経験豊富な研究者 古市圭介氏((株)明治 研究本部 栄養機能研究部 部長)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には20 ptを授与致します。(詳細は本号会告7ページ参照)

募集定員 20名(定員になり次第締切)6名に達しない場合は、開催中止となることがございます。

受付締切 7月14日(月)

受講料(消費税10%込)

個人正会員	44,000円(本体40,000円)
維持会員/特別会員の社員	55,000円(本体50,000円)
地区会員の社員	66,000円(本体60,000円)
会員外	77,000円(本体70,000円)

申込方法・問い合わせ先 本号会告6参照

「知的生産性を高めるチームづくり」講座(第6回・ハイブリッド)

主催 化学工学会人材育成センター 資格制度委員会

概要 「モノづくり」は個人のアイデアが結集されたチームワークの下で成り立ちます。

本講座では、個人や自らが従事するチームの“振る舞い”について訴求し、知的生産性が高く競争力があるチームに必要な“組織論・行動論”と“生産学的技法”を学ぶことで、高度なチームワークを推進できる自律した“企業人”の姿を理解していただきます。

講師 製造、生産ライン建設、研究開発、営業からCTOとして第一線で活躍されてきた経営者 伊藤真一郎氏(住友ベークライト(株)元取締役専務執行役員、化学工学会名誉会員)

日時 2025年8月1日(金)9:55～17:00

対象 以下の何れかに該当される方

- ・知的生産性が高く競争力があるチームの立ち上げ、運営を求められている方(特に30代、40代)
- ・将来のために、知的生産性が高く競争力があるチームについて学びたい方

講座内容

2025年度も、会場での対面開催とMicrosoft Teamsを利用したオンラインのハイブリッドで開催致します。

会場(対面開催時) 化学工学会会談室

東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩7分

オンライン開催時の注意事項 本号会告6ページ参照

1. チームワークの要綱(10:00～12:30, 13:30～14:00)

1.1 チームの設計(機関設計)

基本要素, 意思決定のしくみ, 人事

1.2 チームの行動様式

基本要素, 予算化と資源配分, 目標管理とOJT

1.3 チームワークの最適化

個人の振る舞い, チームの振る舞い

2. チームワークの原動力(14:00～17:00)

2.1 ワンチーム化

情報処理と対処力, 危機管理, しくみの準備

2.2 個人の役割

リーダーシップ, フォロワーシップ, コーリーグシップ

2.3 持続性(胆力)

組織的判断力, 経営資源

上記プログラムを記した冊子は、事前(約2週間前)に送付する予定です。(デジタルデータは配布致しません)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には10 ptを授与致します。(詳細は本号会告7ページ参照)

募集定員 オンライン10名+オンライン2名(定員になり次第締切)6名に達しない場合は、開催中止となることがございます。

受付締切 7月24日(木)

受講料(消費税10%込) 一般

個人正会員	22,000円(本体20,000円)
維持会員/特別会員の社員	27,500円(本体25,000円)
地区会員の社員	33,000円(本体30,000円)
会員外	38,500円(本体35,000円)

※本講座では、上席化学工学技士、化学工学技士、化学工学技士(基礎)を保有する方を対象に、一般の方の半額で受講できる制度を設けております。

受講料(消費税10%込) 上記3資格を保有する方

個人正会員	11,000円(本体10,000円)
維持会員/特別会員の社員	13,750円(本体12,500円)
地区会員の社員	16,500円(本体15,000円)
会員外	19,250円(本体17,500円)

申込方法・問い合わせ先 本号会告6参照

「仕様書の書き方 ～要求を正しく伝えるために～」講座(第5回)

主催 化学工学会人材育成センター 継続教育委員会

概要 プラントやその関連機器の発注業務は、「仕様書」の書き方ひとつによってプロジェクトの成功度合いに大きな影響を与えます。本講座では「仕様書」の作成にあたって、発注者の意思を受注者への確に伝えるようにするにはどのようなことに注意して作成すればよいか指導します。

日時 2025年9月5日(金)9:55～17:00

場所 化学工学会会談室(東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩7分)

対象 以下に該当される方

化学会社、石油精製会社等でエンジニアリング企業、装置メーカーまたは機器ベンダーなどへの

- ・プラント建設の引き合い・発注業務
- ・プラント関連機器の調達・発注業務

に、未経験または2、3年従事された経験がある方

受講のメリット

- (1) 仕様書の位置づけが理解できます。
- (2) 仕様書作成にあたって注意する点を理解できます。

(3) 個々の仕様書(基本設計、機器、配管、電気・計装など)の記載内容について理解できます。

(4) 引き渡し時あるいは試運転時の役務区分を理解できます。

(5) 本講座では事前アンケートを実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。

(6) 修了レポートにより、理解度を更に深められます。

講座内容

第1日：9月5日(金)9:55～17:00

諸連絡(9:55～10:00)

1. 仕事の目的と意義(10:00～11:30)

2. 仕様書作成にあたって(11:40～12:30&13:30～17:00)

- 2.1 基本注意事項
- 2.2 カテゴリー別解説

2.2.1 全般事項

2.2.2 個別事項

2.2.3 工事完了時の役務区分

講師 千代田化工建設(株)のプロジェクトマネージャー

平尾 幸朗氏(千代田化工建設(株)国内エネルギー環境プロジェクト部)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では、受講者の方々に受講後に復習していただき、講義内容の理解を深めていただく意図で、修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は本号会告7ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には10 ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に5 ptを加算致します。(詳細は本号会告7ページ参照)

募集定員 20名(定員になり次第締切)

受付締切 8月28日(木)

受講料(消費税10%込)

個人正会員	22,000円(本体20,000円)
維持会員/特別会員の社員	27,500円(本体25,000円)
地区会員の社員	33,000円(本体30,000円)
会員外	38,500円(本体35,000円)

申込方法・問い合わせ先 本号会告6参照

「モデリング技術の基礎と実践」講座(改定第21回)

主催 化学工学会人材育成センター 継続教育委員会

概要 プロセス設計、プラント運転にはプロセスシミュレータが広範囲に利用されています。シミュレータをより効果的に活用するには、基礎工学原理の理解が不可欠です。応用数学とモデリングの基礎を、手計算、Excel、方程式解法ソフトを用いながら学び、実験データからモデルをどう作るかについて、微分方程式・代数方程式の立て方と解き方を中心にした演習を行い、化学プロセスで取り扱う現象のモデリングについて実践的な基礎を学ぶ機会を提供します。

日時 2025年10月23日(木)～24日(金)

場所 化学工学会会談室(東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩7分)

対象 以下の何れかに該当される方

- ・反応や各種単位操作に関連した現象のモデリング技術を学んで実践に生かしたい方
- ・企業経験3年程度以上の技術系の方

受講のメリット

- (1) プロセスシミュレーションモデリング技術に

関する知識とアプローチの理解が深まり、実際に生かすことができます。

(2) プロセスデータ・実験データを見た時に、関連したモデルを作成し、それをを用いて考察する習慣をつけるための第一歩となります。

(3) 本講座では事前アンケートを実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。

講座内容

第1日：10月23日(木)9:55～17:30

諸連絡(9:55～10:00)

1. 立式と解法の基本(EQUATRAN導入教育含む)

第2日：10月24日(金)9:30～17:00

2. 反応操作
3. 気液平衡
4. (参考)プラントデータの解析
5. まとめ

※テキスト改定により、若干内容が変わる可能性があります。ご了承ください。

※関数電卓は各自ご持参下さい。

※演習用PCは当会でご準備致します。

<用いるソフトウェア>方程式解法ソフト(EQUATRAN-G for Windows)を開発・販売元である株式会社オメガシミュレーション社のご好意により利用できます。

《ソフトウェアに関する受講者の知識》

- 1) Excel：ソルバー機能を使った経験
※ソルバー機能を使った経験が少ない方は、「化学工学」2004年7月号pp.382-386を自習されることを推奨します。

- 2) 方程式解法ソフト：不要(冒頭2時間強で、化学工学例題を用いて操作方法を説明します)

講師 熊谷 善夫氏((株)PreFEED, 博士(工学))
及び、横山 克己氏((株)PreFEED, 博士(工学))

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には20 ptを授与致します。(詳細は本号会告7ページ参照)

募集定員 10名(定員になり次第締切)6名に達しない場合は、開催中止となる場合がございます。

受付締切 10月15日(水)

受講料(消費税10%込)

個人正会員	49,500円(本体45,000円)
維持会員/特別会員の社員	60,500円(本体55,000円)
地区会員の社員	71,500円(本体65,000円)
会員外	82,500円(本体75,000円)

申込方法・問い合わせ先 本号会告6参照

「バッチ操作を伴うプロセス設計」講座(第6回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

概要 本講座では、主に反応を伴うバッチプロセスを題材に、プロセスを設計する上で、留意しなければいけない基本的な思想、手法を学んでいただくとともに、特に、バッチプロセス特有の事象について学んでいただきます。

日時 2025年11月7日(金)9:55～17:00

場所 化学工学会会議室(東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩7分)

対象 以下に該当される方
・バッチプロセス、プラントの設計に携わる方(2～3年程度の経験者)
・「反応器の設計」講座 修了者

受講のメリット

- (1) バッチ操作を伴うプロセスを設計する際の留意点を理解できます。

- (2) バッチ操作を伴うプロセスにおけるプロセス機器、シーケンス制御の設計方法を理解できます。
- (3) 本講座では事前アンケートを実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。
- (4) 修了レポートにより、理解度を更に深められます。

講座内容

諸連絡(9:55～10:00)

1. バッチプロセスと連続プロセス(10:00～11:00)
2. 反応(11:10～12:30 & 13:30～14:10)
3. 蒸留(14:10～15:30)
4. 粉体混合プロセス(15:40～17:00)

講師 経験豊富なエンジニア

小野 喜弘氏(元三菱ガス化学(株), 上席化学工学士)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では、受講者の方々に受講後に復習していただき、講義内容の理解を深めていただく意図で、修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は本号会告7ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には10 ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に5 ptを加算致します。(詳細は本号会告7ページ参照)

募集定員 20名(定員になり次第締切)6名に達しない場合は、開催中止となる場合がございます。

受付締切 10月30日(木)

受講料(消費税10%込)

個人正会員	22,000円(本体20,000円)
維持会員/特別会員の社員	27,500円(本体25,000円)
地区会員の社員	33,000円(本体30,000円)
会員外	38,500円(本体35,000円)

申込方法・問い合わせ先 本号会告6参照

「ガス分離膜・浸透気化膜分離プロセス及び膜反応器の設計」講座(改定第6回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

概要 ガス分離膜・浸透気化膜の基礎を理解するとともに、ガス分離膜・浸透気化膜装置及び膜反応器の設計法を習得していただきます。また、実際のプラントに即した演習問題を解くことにより、設計法を理解していただきます。

日時 2025年11月13日(木)～14日(金)

場所 化学工学会会議室(東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩7分)

対象 以下の何れかに該当される方
・膜分離や膜反応器を扱う研究者・技術者(3～5年程度の経験者)
・プラントのプロセス設計を行う技術者(3～5年程度の経験者)
・膜分離設備設計技術者(3～5年程度の経験者)
・Excelのゴールシークとソルバー機能の経験、または、知識がある(使い方のサポートを必要としないこと)。(ゴールシークとソルバー機能については、各自で以下に記した事前学習をお願いします。)

受講のメリット

- (1) ガス系分離膜の基礎及び実際に学べます。
- (2) ガス系分離膜装置の設計法を学べます。
- (3) パーバーパラーション、蒸気透過について学べます。
- (4) 膜反応器について学べます。
- (5) 本講座では事前アンケートを実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。
- (6) 修了レポートにより、理解度を更に深められます。

講座内容

第1日：11月13日(木)12:30～17:00

諸連絡(12:30～12:35)

1. ガス系分離膜の基礎(都留氏)
2. ガス系分離膜の実際(都留氏)
3. ガス系分離膜装置の設計法(都留氏)

第2日：11月14日(金)9:30～16:30

4. PV・VPプロセスの基礎と応用(9:30～10:55:喜多氏)
5. 分離膜の現状と特性(11:05～12:30:喜多氏)
6. 膜反応器の基礎(13:30～:都留氏)
7. 膜反応器の設計基礎(都留氏)
8. 膜反応器の設計法(～16:30:都留氏)

※演習用PCは当会でご準備致します。

※なお、演習ではゴールシークとソルバー機能を使います。
ゴールシーク、ソルバー機能を使った経験がない方は、本会「化学工学」誌に連載された「Excelで気軽に化学工学」第1回(2004年7月号pp.382-386)や「Excelで解く化学工学10大モデル」(2014年11月号～2016年1号)、あるいは、「Excelで気軽に化学工学」(化学工学会編・丸善刊)等で予習してください。個人会員の方であれば、電子図書館で「化学工学」誌を閲覧することができます。

講師 大学等の最先端の研究者
都留 稔子氏(広島大学名誉教授)
喜多 英敏氏(山口大学大学院創成科学研究科教授(特命))

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では、受講者の方々に受講後に復習していただき、講義内容の理解を深めていただく意図で、修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は本号会告7ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には20 ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に10 ptを加算致します。(詳細は本号会告7ページ参照)

募集定員 12名(定員になり次第締切)6名に達しない場合は、開催中止となる場合がございます。

受付締切 11月5日(水)

受講料(消費税10%込)

個人正会員	38,500円(本体35,000円)
維持会員/特別会員の社員	46,750円(本体42,500円)
地区会員の社員	55,000円(本体50,000円)
会員外	63,250円(本体57,500円)

申込方法・問い合わせ先 本号会告6参照

「プラント計装制御ー2」講座(第12回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

概要 PID制御のチューニング手法やダイナミックモデルを使用した制御ループについて学び、ダイナミックシミュレータ(Matlab_

Simulink)を使った演習を通して、プロセス制御の理論について理解を深めていただきます。

日時 2026年1月22日(木)~23日(金)

場所 化学工学会会議室(東京メトロ丸の内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩7分)

対象 以下の何れかに該当される方

- ・プロセス技術者(5~7年程度の経験者)
- ・計装制御技術者(3~5年程度の経験者)
- ・「プロセス設計」講座各編 修了者
- ・「プラント計装制御-1」講座 修了者/受講予定者

受講のメリット

- (1) PID制御の基礎と最適調整について理解できます。
- (2) ダイナミックモデルを使用した、無駄時間補償付PID制御、フィードフォワード制御、非干渉制御を理解できます。
- (3) シミュレータを使った演習で制御理論への理解が深まります。

(4) 本講座では事前アンケートを実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。

(5) 修了レポートにより、理解度を更に深められます。

講座内容

第1日：1月22日(木)9:55~17:30
諸連絡(9:55~10:00)

1. PID制御とチューニング
2. アドバンスト制御

第2日：1月23日(金)9:30~17:00

2. アドバンスト制御(続き)
3. ダイナミックシミュレーション及びそれを使用した制御性確認

講師 経験豊富なエンジニア
昆 潤一郎氏(元日揮(株)・博士(工学))

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では、受講者の方々に受講後に

復習していただき、講義内容の理解を深めていただく意図で、修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は本号会告7ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には20 ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に10 ptを加算致します。(詳細は本号会告7ページ参照)

募集定員 10名(定員になり次第締切)6名に達しない場合は、開催中止となる場合がございます。

受付締切 1月14日(水)

受講料(消費税10%込)

個人正会員	49,500円(本体45,000円)
維持会員/特別会員の社員	60,500円(本体55,000円)
地区会員の社員	71,500円(本体65,000円)
会員外	82,500円(本体75,000円)

申込方法・問い合わせ先 本号会告6参照

地域 C T



東 海 支 部

第18回機器分析講習会 化学工学系の研究開発を 支援する最新の分析、解析技術

経験豊富なメーカーの分析技術者による講義を通して、分析機器の操作方法や計測手法、日常メンテナンスやノウハウを学び、研究活動のレベルアップを図ることを目的に実施します。特に、最近注目されているカーボンニュートラル関連などの分析例についても紹介します。

講習会は、走査電子顕微鏡コース、比表面積・細孔分布評価コース、X線回折コース、高速液体クロマトグラフコース、および電気化学インピーダンス測定コースの5コースを2日間にわたって開催します。また、講義終了後には質問コーナーを設けますので、日常の分析で疑問に思っていること、試してみたい分析、使用している機器の消耗品に関する情報など、何でも気軽に質問や相談してください。

主催 公益社団法人化学工学会東海支部
協力 日本電子(株)、マイクロトラック・ベル(株)、(株)リガク、(株)東陽テクニカ、(株)島津製作所

対象 実際に分析機器を使用している企業の担当者、学部4年生や修士・博士学生

日時 2025年6月16、17日13:00~16:30

※本講座は、ビデオ会議ツールZoomの「ブレイクアウトルーム」を使用したライブ配信(2、3コースを同時進行)で開催します。ブレイクアウトルーム間は移動可能なので、開講時間内であれば他のコースへ移動することもできます。

LIVE配信に加えて、コース1~4では当日の講義を録画した動画を、コース5では、録画した講義に代わる教材として特別に用意した動画を6月24日から7月5日までの期間、ご覧いただけます。

講習会の内容

1. 走査電子顕微鏡(SEM)コース(6/17)

講師：日本電子(株)
走査電子顕微鏡の基本を説明した後、測定に対する留意点や測定試料の作製法、データ解析方法、測定に対するノウハウなどについて講義します。また、エネルギー分散型X線分析装置など、関連する表面分析についても講義します。

応用例：調整中

2. 比表面積・細孔分布評価コース(6/16)

講師：マイクロトラック・ベル(株)
ガス吸着法によって触媒などの様々な固体材料の比表面積・細孔分布を測定し評価する基本をご説明します。また、近年注目されているDAC(ダイレクトエアキャプチャ)アプリケーションを触媒分析装置を用いて評価した応用例についても講義します。

応用例：DAC(ダイレクトエアキャプチャ)などを対象としたCO₂吸収剤の評価

3. X線回折(XRD)コース(6/16)

講師：(株)リガク
X線回折法の基本を説明した後、測定に対する留意点や測定試料の作製法、データ解析方法、安定した測定に対するノウハウ、などについて講義します。

応用例：カーボン担持の触媒試料の結晶子サイズ解析

4. 電気化学インピーダンス測定コース(6/17)

講師：(株)東陽テクニカ
電池や腐食、塗膜などの評価に用いられる電気化学インピーダンス測定の原理を説明した後、等価回路に置き換えて解析する方法などについて講義します。また、二次電池の測定に適用できる最新の測定・解析手法を紹介します。

応用例：二次電池におけるZ-3Dインピーダンスによるin-situ解析

5. 高速液体クロマトグラフ(HPLC)コース(6/17)

講師：(株)島津製作所
HPLCの基本を説明した後、日常分析に対する留意点、日常のメンテナンス方法、簡単なトラブルシューティングなど、HPLC使用のノウハウについて講義します。

応用例：バイオマス関連(発酵阻害物質など)の分析事例

募集定員 各コース80名(申込者数が最少催行者数に到達しない場合は、中止する場合があります)

ります。)

参加費(含消費税・含テキスト代)

正(個人)・法人会員会社社員	¥3,000
非会員/一般	¥6,000
学生(会員/非会員)	無料

※1日参加であっても、2日参加であっても、

参加費は変わりません。

※テキストには5コースすべての内容が含まれています。

参加方法 参加者はZoomの推奨環境をご参照いただき、アプリケーションを事前にインストールしてください。インストール後、必ず最新版にアップデートしてください。旧バージョンの場合、ブレイクアウトルームへご参加ができないことがあります。参加者にはZoomミーティングルームのURLをご連絡しますので、当日は各自でZoomミーティングルームのブレイクアウトルーム内にあるご希望コースに移動してください。その他、受講に関する注意事項は、別途メールでご案内させていただきます。

※講義映像以外にも参加者の質問や議論の一部が録画され、期間限定でアーカイブ配信されます。ご参加いただく際には、この点をご理解いただき、ご了承いただけますようお願い申し上げます。また、録画されたビデオの利用に関しては、肖像権等の法的規定に十分配慮し、適切に対応いたします。

申込方法 下記ホームページ「機器分析講習会」にアクセスし、「参加申込フォーム」にてお申込み下さい。http://scej-tokai.org/

本イベントの参加お申込みは、Payventにて受付いたします。(Payvent=学会イベントシステム決済運営会社：(株)Urbs)

お申し込みと同時に参加費をお支払いいただけます。

申込・送金締切 2025年6月9日(月)

受講方法 申込・送金を確認できた後、開催日の3-5日前を目安として、受講用URLと講義資料を配信します。Webを閲覧できるデバイスで受講してください。

問合せ先 〒466-8555 名古屋市長和区御器所町 名古屋工業大学 生命・応用化学科 化学工学研究室内
公益社団法人化学工学会東海支部

TEL 080-4525-3070

第49回 基礎化学工学演習講座 (第1, 2クール)

主催 (公社)化学工学会東海支部
共催(予定) 静岡化学工学懇話会他
協賛(予定) (公財)中部科学技術センター他

日時 第1クール(初歩):6月26日(木), 27日(金)
9:45~17:15(昼食休憩: 13:00~14:00)
第2クール(基礎):7月2日(水)~4日(金)
9:45~17:15(昼食休憩: 13:00~14:00)

対象 第1クール: 初めて化学工学を学びたい方。初めてプラント設計, 運転に携わる方。高卒程度の知識がある方。プラントや実験装置で起こる物質収支, 熱収支の基礎を学びます。

第2クール: 基礎から応用例を学びたい方。工学部卒, 高専卒程度の知識のある方。物質収支, 熱収支, 移動論の基礎から実践的な例を学びます。

昨今では, AIやIoTなどを踏まえつつスマート化を目指した化学プラント構築の模索が行われておりますが, 化学工学の理論との整合性を踏まえて実装する必要があります。また, 高純度化を目指すプラント設計やトラブル解決のためにも化学工学の専門的な知識を持つ技術者の存在は, ますます重要となっております。

本講習会では, 受講者のレベルに応じて3つのクールを用意しました。プラントの設計や運転には関わっているが化学工学を勉強する機会がなかった初心者の方, さらに専門的な知識を習得したい技術者の方まで, 原理や理論の説明に加え, 豊富な事例に基づく例題を解きながら学べる機会を提供します。2025年度は, 全てオンライン方式(Zoomによるライブ配信)により開催します。ライブ配信では, チャットや音声通話機能を用いて, 参加者からの質問を受け付ける予定です。

なお, 第3クール以降も, 順次開催する予定です。是非聴講をご検討ください。

開催形式 Zoomによるライブ配信を利用したオンライン方式

定員 90名

(定員になり次第締め切りとさせていただきます。企業向けの講座ですが, 学生が受講されても構いません。ただし, 定員を超えた際には企業の方を優先させていただきます。申込者数が最少催行者数に到達しない講義については, 開催しない場合があります。)

会員特典 化学工学会正会員, 学生会員ならびに法人会員会社社員の方は, 本講座の受講者に限り, 各クールで利用するテキストを特別販売いたします。

*第1クールで利用するテキスト:『基礎化学工学』(共立出版)税込3,300円→1,500円

*第2クールで利用するテキスト:『化学工学改訂第3版』(朝倉書店)税込2,750円→1,000円

テキストをお持ちでない場合は, 参加費にテキスト代を加えてお申し込み下さい。

参加費(消費税を含む)

	第1クール	第2クール
日数	2日間	3日間
化学工学会正会員	¥15,000	¥25,000

化学工学会法人会員 会社社員	¥20,000	¥30,000
共催・協賛団体会員	¥25,000	¥35,000
学生会員	¥8,000	¥10,000
会員外	¥50,000	¥60,000

【注】第1クールは2日間, 第2クールは3日間連続して行われます。

申込方法 化学工学会東海支部ホームページにアクセスし, 「参加申込フォーム」からお申込み下さい。

<https://scej-tokai.org/>

本イベントの参加お申込みは, Payventにて受付いたします。

(Payvent = 学会イベントシステム決済運営会)

プログラム

	月日	時間	講義	内容	講師
第1クール(初歩)	第1日 6月26日(木)	午前	化学工学の 入門	単位と次元(I), プロセス変数, 状態方程式(I)	静岡大学 立元 雄治氏
		午後		物質収支の基礎, 複雑なプロセスの物質収支, エネルギーの基礎	静岡大学 前澤 昭礼氏
	第2日 6月27日(金)	午前		反応系のエネルギー収支	静岡大学 福原 長寿氏
		午後		化学プロセスの基礎, 化学プロセスの計算	静岡大学 武田 和宏氏

	月日	時間	講義	内容	講師
第2クール(基礎)	第1日 7月2日(水)	午前	化学工学 基礎・拡散	単位と次元(II), 状態方程式(II)	名古屋工業大学 名誉教授 多田 豊氏
		午後		収支, 拡散, 物質移動, 燃焼計算	日油(株) 吉田 航氏
	第2日 7月3日(木)	午前	流動	流体の流れと計測, 円管内の流れ, 流体と輸送	名古屋工業大学 岩田 修一氏
		午後		流体輸送機器の設計と実際	三井化学(株) 池田 雅一氏
	第3日 7月4日(金)	午前	伝熱	伝導伝熱, 対流伝熱, 放射伝熱	名古屋大学 窪田 光宏氏
		午後		熱交換器などの設計と実際	KHネオケム(株) 渡辺 稿太氏

第3クールのご案内

ガス吸収, 蒸留, 抽出・吸着, 粉粒体操作, 固液分離, 調湿・乾燥, 攪拌・混合, 反応工学, プロセス制御, の各講義を1日単位で開講予定です。開催時期は第2クールの開催後(7~9月頃)の予定です。

参加の際の注意

(注1)関数電卓, 定規を使用する場合がございますのでご用意ください。

(注2)本講座の配布資料や配信動画は著作物のため, 複写・録音・録画・転載・上映・無断公開等を禁止いたします。

(注3)受講者様に起因する視聴トラブルについては, 弊会は責任を負えませんのでご理解ください。

(注4)配布資料ならびにテキスト(申込者のみ)は事前郵送します。郵送可能な住所をご登録ください。

社:(株)Urbs)

お申し込みと同時に参加費をお支払いいただけます。

※ビデオ会議ツール「Zoom」の推奨環境については, 当該ツールのマニュアルなどをご参照ください。後日, 視聴用のURLを別途メールにてご連絡いたします。ライブ配信に関する注意事項は, 別途参加申込者に連絡されるメールよりご確認ください。

申込締切 第1クール:6月17日(火)

第2クール:6月23日(月)

問合せ先 化学工学会東海支部

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町 名古屋

工業大学 生命・応用化学科 化学工学研究室内

<https://scej-tokai.org/>

TEL:080-4525-3070



関西支部

セミナー「サーキュラー エコノミー実現に向けた レアメタルリサイクルの 現場見学会および講演会」

主催 化学工学会関西支部
共催 化学工学会分離プロセス部会
協賛 近畿化学協会、日本化学会近畿支部、分離技術会、有機合成化学協会関西支部〈何れも予定〉

日時 2025年5月20日(火) 13:30~18:00 (施設見学会・講演会)

開催形式

- ・見学会：[対面会場] 日本リサイクルセンター(株)中島事業所(大阪市西淀川区中島2-9-141)
- ・講演会：[対面会場] 尼崎商工会議所 502会議室(兵庫県尼崎市昭和通3-96)
[オンライン] Zoom利用

プログラム

- 見学会(13:30~14:55)
日本リサイクルセンター(株)中島事業所(開催概要・設備概要説明、施設見学)
講演会場へ移動(主催者にてタクシー手配)
 - 講演会
(1) 成長志向型の資源自律経済の確立に向けた取組について(15:40~16:30) (経済産業省資源循環経済課) 講演者未定
(2) 高い抽出分離能と実用性を両立した新規抽出剤の開発とレアメタルリサイクルへの応用(16:30~17:10) (日本原子力研究開発機構(SPring-8) 下条晃司郎氏)
(3) ノーリアを用いる金の選択的還元回収プロセスについて(17:10~17:50) (関西大環境都市工) 村山憲弘氏
 - 意見交換会(18:30~20:00頃) ※希望者のみ、於：阪神尼崎駅前近辺を予定
- 参加費 主催・協賛団体個人正会員19,000円、主催・協賛団体法人会員所属23,000円、大学・公設機関7,000円、学生会員3,000円、会員外37,000円、会員外学生5,000円(講演会のみも同額、会場テキスト代、間タクシー代、消費税込み)、意見交換会4,500円(希望者のみ、消費税込)

申込締切 5月9日(金)

※ただし、見学会+講演会は定員25名(先着順)、講演会のみ(オンライン含む)は定員100名になり次第、各々締切

申込方法 Web上の参加申込フォーム (<https://www.kansai-scej.org/form/view.php?id=56575>) よりお申込みください。参加費は、りそな銀行御堂筋支店 普通預金No.0405228 名義 公益社団法人化学工学会関西支部にお振込みください。(振込手数料はご負担ください)

※主催・協賛団体の他支部に所属の場合でも主催・協賛団体所属会員としてお取扱いたします。

注意事項

- ・業種(同業者)によっては、見学をお断りさせていただく可能性がありますので、ご了承ください。
- ・オンライン参加に際しての必要な機材・設備は各自でご準備ください。
- ・参加申込者の方には、5月中旬頃に集合場所、オンライン接続情報等の詳細をE-mailにてご連絡させていただきます。
- ・天候悪化の場合、安全を考慮し、施設見学を中止させて頂くことも有りますので、ご了承ください。

問合せ・申込先 公益社団法人化学工学会関西支部

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階
TEL : 06-6441-5531 FAX : 06-6443-6685
E-mail : apply@kansai-scej.org
<https://www.kansai-scej.org/>

セミナー「分析技術の最前線とものづくりへの応用」

主催 化学工学会関西支部
協賛 近畿化学協会、高分子学会関西支部、日本化学会近畿支部、日本機械学会関西支部、分離技術会、有機合成化学協会関西支部(予定)

日時 2025年6月27日(金) 10:00~18:30

開催形式 [対面] 大阪科学技術センター4階404号室(大阪市西区靱本町1-8-4、交通: OsakaMetro 地下鉄四つ橋線「本町」駅25・28番出口より北へ徒歩約5分、靱公園北詰。
<http://www.ostec.or.jp/access.html>
[オンライン] Zoom

プログラム

- 開会の挨拶・趣旨説明(10:00~10:10)
- 講演会[何れも質疑応答約10分含む]
 - 【基調講演】化学物質管理政策をめぐる最近の動向について(10:10~11:10) (経済産業省産業保安・安全グループ化学物質管理課) 河内あゆみ氏
 - 最新PFAS分析ソリューションのご紹介(11:10~12:00) (鳥津製作所) 星 大海氏
 - 熱分解ガスクロマトグラフィー/質量分析法による大気マイクロプラスチックの分析(13:20~14:10) (徳島大院) 水口仁志氏
 - モロミックスと醸造シンギュラリティ(14:10~15:00) (酒類総合研究所) 岩下和裕氏
 - マイクロTASの最新動向(15:15~16:05) 北海道大学大学院教授 渡慶次 学氏
 - 国内初の第4世代放射光施設NanoTerasuの概要(16:05~16:55) (量子科学技術研究開発機構 NanoTerasu) 加道雅孝氏
- 閉会の挨拶(16:55~17:00)
- 名刺交換・交流会(17:00~18:30) ※参加無料
※状況によってはプログラムの変更(オンライン式、または中止)が生じる場合がありますので、ご了承ください。

申込締切 6月20日(金) ただし、定員(対面50名)になり次第、オンラインでのご案内になります。

参加費 主催・協賛団体個人正会員19,000円、主催・協賛団体法人会員所属23,000円、大学・公設機関7,000円、学生会員3,000円、会員外学生5,000円、会員外37,000円(テキスト代・消費税込)

参加申込方法 Web上の参加申込フォーム

<https://www.kansai-scej.org/form/view.php?id=49791> よりお申込みください。参加費は、銀行振込[りそな銀行御堂筋支店 普通預金No.0405228 名義 公益社団法人化学工学会関西支部]をご利用ください。振込手数料はご負担ください。

※参加費は「主催・協賛団体の支部以外」にご所属の場合でも「主催・協賛団体」としてお取扱いいたします。

※6月20日以降のキャンセルは参加費等を申し受けますので、ご了承ください。

問合せ・申込先 (公社)化学工学会関西支部
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階
TEL : 06-6441-5531 FAX : 06-6443-6685
E-mail : apply@kansai-scej.org